

令和6年度

北発寒公園・前田公園
管理業務計画書

稲積公園グループ

代表者 株式会社札幌リゾート開発公社

TEL 598-4511
FAX 598-3356

1 総括的事項に関する取組

(1) 管理運営業務の基本方針及び事業目標

(1) - 1 基本方針

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園 管理運営の基本方針

株式会社札幌リゾート開発公社（以下、「リゾート開発」といいます。）と、公益財団法人札幌市公園緑化協会（以下、「緑化協会」といいます。）は、手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園（以下、「当公園」といいます。）の効果的な管理運営を目指して、稲積公園グループ（以下、「当グループ」といいます。）を組織しました。

当グループの主要な業務の分担は次のとおりです。

- ・ リゾート開発

代表団体として、手稲稲積公園内施設「ていねプール」の運営、維持管理業務を担当

- ・ 緑化協会

当公園の「ていねプール」以外の区域の総括的な管理運営業務を担当

当公園の特徴を最大限に生かして、多くの市民に利用していただけるよう、当グループでは、構成員である緑化協会の《理念》と、運営方針に掲げる《公益性「5つのK」》を基とした、次の基本方針に従って、当公園の管理運営を行っていきます。

公益財団法人札幌市公園緑化協会の《理念》と《運営方針》

《理念》

私たちは、札幌市民との相互信頼のもと、みどりを通じた心豊かな持続可能なまちづくりの実現と、みどり豊かな札幌の次代への継承に貢献します。

《運営方針》

上記理念の実現のため、次の『5つのK』を柱とし、指定管理者として公園の価値と市民の満足度の向上につなげます。

「5つのK」

公平

公園・施設でのサービスの提供においては、平等・公平を最優先して、単なるサービスに留まらず、誰に対しても思いやりと感謝にあふれた真のホスピタリティを目指します。

公開

社会情勢の変化や市民のニーズに対して迅速で的確な対応をとり、公正で透明性のある、開かれた公園・施設の運営に努めます。

効率

長年の公園・施設管理において培った実績・ノウハウを基に、長期的な視点と即対応の視点の両面から、公園・施設の効率的・効果的な管理運営を行い、経費の削減と安定した質の高いサービスを実現します。

協働

ボランティア等の市民協働による公園・施設管理を推進するほか、ファン、リピーターを増やす取組により、公園・施設を核として地域の人や資源のつながりを創り出すことで、地域の活性化に貢献します。

環境

環境マネジメントシステムの運用により、環境負荷低減や生物多様性保全への取組を維持・向上させ、市民の財産であるみどりを次代へ継承します。

当公園管理運営の基本方針

1. 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高めます。
2. 関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供します。
3. 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供します。
4. コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸団体・機関との連携・協働を推進し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高めます。
5. 市民の健康づくりの拠点として、運動やスポーツ、遊び等の公園利用を促進し、公園の価値を高めます。

また、リゾート開発は、「企業としての自立を確立するとともに、顧客・株主・社員・地域との共存共栄を図り、事業を通じ社会の発展に貢献する」ことを企業理念として掲げています。これを達成するために、ていねプールにおいては上記に加え、次の基本方針にしたがって施設の管理運営に取り組みます。

ていねプール管理運営の基本方針

6. 当施設の営業は常に危険を伴うことから、利用者の安全確保を最優先として管理運営にあたります。
7. 道内最大級の屋外レジャープールとしての特徴を最大限発揮させることにより、市民のレクリエーション活動並びに健康増進に貢献します。
8. 市民が比較的低廉な価格で利用できるよう、コストの節減と効率的運営に努めます。
9. 当施設は公園の一部であることを認識し、公園全体の管理との調和に配慮します。

(1) - 2 事業目標

当公園の管理運営にあたっては、前述の特徴を踏まえ、当グループの基本方針を基に次の6つの事業目標を立て、各種の事業に取り組みます。

《ていねプール》

事業目標1 プールの安全管理の徹底

- ① 利用者が安全に遊泳できるように、十分な監視員を配置します。
- ② 厚生労働省が通知する「遊泳用プールの衛生基準」に基づき、日常的に水質管理を行います。
- ③ 文部科学省、国土交通省が策定した「プールの安全標準指針」に基づき、安全管理を徹底して行います。
- ④ 事故・災害発生時に適切に対応し、負傷者の応急処置ができる態勢を整えます。

事業目標2 質の高いサービスの提供

- ① 従業員による場内巡視と警察との緊密な連携等により、犯罪防止に努めます。
- ② プールサイド、トイレ、ロッカー室、更衣室等の点検清掃をこまめに行い、清潔な施設管理に努めます。
- ③ 忘れ物、盗難、迷子、苦情及び電話での問い合わせ等にきめ細かく対応します。
- ④ アルバイトを含め従業員教育を徹底し、サービスの向上に努めます。

《その他当公園施設》

事業目標3 健康づくりやスポーツを軸とした公園の価値の向上

- ① 公園のみどりに囲まれたスポーツ施設を良好な状態に維持管理し、市民が気軽に気持ちよくスポーツを楽しめるよう、利用者ニーズに合わせたサービスを提供します。
- ② 四季を通じた市民の健康づくりの場としての魅力を高めるとともに、ノルディックウォーキングやテニスの講習会など、スポーツへの新たな参加機会を提供します。
- ③ 当公園で多数開催されるスポーツ大会において参加者が安全に楽しめるよう、スムーズな大会運営への協力・支援をします。
- ④ 公園の豊かなみどりを利用した、子どもや主婦層から高齢者まで幅広い年齢層の方が安心して参加できる交流イベントや講習会を企画・開催します。

事業目標4 地域との連携

- ① 近隣の小中学校の体験学習の場としての利用など、学校教育での公園利用を積極的に受け入れ、サポートします。
- ② 町内会や関係団体との連携・協働による催しやイベントなど、地域に根ざした公園利用の促進を図ります。
- ③ 地域の防犯・防災組織に積極的に参加し、地域住民とともに安全・安心な地域づくりに取り組みます。
- ④ JR 稲積駅と住宅地を結ぶ生活道路となっている園路の冬期間の一部除雪や、園路灯照度を保つための樹木剪定などを継続して行い、地域の声をよく聴き、安心して利用できる公園とします。
- ⑤ 周辺環境と調和し、公園内外の景観に配慮した樹木等の維持管理を行い、地域に憩いと安らぎをもたらす景観づくりを進めます。

事業目標5 効率的な維持管理による施設の長寿命化と環境負荷の低減

- ① 園内施設については、計画的な予防保全と事後保全を組み合わせることで修繕等を行うライフサイクルコストの縮減と施設の長寿命化を図ります。
- ② 冬期間の安全対策として、積雪前の施設養生、積雪状況に応じた施設の雪下ろしを行います。
- ③ 利用者や地域住民が安全に安心して利用・生活ができるよう、化学農薬の使用を極力抑制するとともに、園内で発生する植物残渣の堆肥化や剪定枝のチップ化など、園内植物のリサイクルに積極的に取り組み、環境への負荷を低減します。
- ④ 特定外来生物オオハングソンソウの発見・駆除を行うなど、生物多様性に配慮した公園管理を行います。
- ⑤ 環境負荷低減の施策については、緑化協会の環境マネジメントシステムに基づき適切に運用します。

事業目標6 開かれた公園管理体制の構築

- ① 地域の中で公園の果たす役割を考え、公園の価値を高めていくことを目指して、町内会、まちづくりセンター、幼稚園、学校、各種市民団体等が参加する「手稲稲積公園利活用協議会」を引き続き開催し、開かれた公園管理を推進します。

(1) - 3 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

緑化協会は「持続可能な2030年までの開発目標（SDGs）」に賛同し、将来にわたって、誰もがやすらぎや生きる喜びを感じられる場所を提供できるよう、公園を安全・快適に保ち、環境保全や健康・福祉等の取組を積極的に実施します。



緑化協会のSDGsへの主要なアクション



適切な公園管理

- ・計画に基づく公園管理
- ・災害対応
- ・人や環境にやさしい植物管理
- ・レクリエーションや交流の場の提供
- ・人と人、人と緑のつながりづくり 等



誰もが利用しやすい環境づくり

- ・平等利用の確保
- ・バリアフリー対応
- ・多言語対応
- ・接遇研修 等



環境保全 環境教育

- ・希少植物の保護
- ・観察会
- ・環境展示
- ・子どもたちやボランティアによる調査
- ・小学校等の実習受入
- ・侵略的外来種防除 等



気候変動対策

- ・電気使用量の削減
- ・冷暖房の節約
- ・エコドライブ
- ・産業廃棄物の適正な処理
- ・フロン類の適正使用
- ・ボイラーの適正管理
- ・グリーン購入
- ・雪の利活用
- ・雨水浸透型花壇 等



資源の有効利用

- ・植物リサイクル
(堆肥、チップ、クラフト素材)
- ・廃食油回収
- ・機械等の長期利用 等



働きやすい 環境づくり

- ・ハラスメント防止
- ・安定雇用
- ・子育て支援
- ・女性の活躍
- ・研修助成制度 等



個別の取り組みについては、1（2）平等利用の確保に向けた考え方と取組、1（3）地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進に向けた基本的な考え方、3（1）維持管理業務計画、4事業の計画及び実施に関する業務の実施内容、5利用者サービス等に関する取組に詳記します。

(2) 平等利用の確保に向けた考え方と取組

すべての利用者に対して公平・平等・公正なサービスを提供することは、公共施設である公園の管理運営において最も重要な基本事項であると考えます。

当グループでは、当公園において平等な利用機会を確保するため、次のとおり方針を定め取組みます。

(2) - 1 平等利用確保の方針

当グループは、公の施設の利用について規定した、地方自治法第 244 条第 2 項（正当な理由なく利用を拒んではならない）、及び第 3 項（利用に際して不当な差別的取扱いをしてはならない）を遵守し、年齢や障がい、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられることのないよう、全スタッフに対する教育を徹底して、公園・施設の適切な管理運営を行います。

特に、配慮が必要な障がい者に対しては、障害者差別解消法の趣旨に則り、公園・施設において不当な差別的取扱いをすることのないよう、また、施設等の利用の際の要望・申し出に進んで対応し、合理的配慮を行うことで「困りごと」の解消に努め、共生社会の実現に寄与します。

(2) - 2 平等利用確保の取組項目

■ スタッフへの教育指導の徹底

当グループでは、当公園における平等利用の確保のため、主として利用者対応を行うスタッフに接遇・サービス研修、公の施設に関する講習を実施します。公園という公共の場において、「思いやりと感謝の気持ちで等しく利用者に接する」というスタッフの基本的な心構えを学び、様々な状況への対応について習得し、平等利用の確保を図ります。

また、特定の個人・団体に対する不当な利用拒否・利用制限などの差別的取扱いや、逆に便宜を図る等の特別扱いや優遇など、対応に注意を要する具体的事例をミーティング等において全スタッフで学び、接遇のレベルアップに努めます。

■ 違法・不正行為の防止

日常の管理において、犬のノーリード、落書き、放火、器物の損壊、植物の盗掘、ゴルフ、花火や火気の使用、無許可の占用使用など、公園における様々な違法・不正行為や不審行為に対して、それぞれの予防対策を検討して実施します。

上記のような行為が発生した場合は、迅速に状況を把握した上で、指導、通報・報告、事態の打開・原状復旧等の対応を適切に行い、必要な再発防止策を講じます。

■ マニュアルの作成・共有

公園・施設、特に有料施設の利用にあたっては、取扱マニュアルを作成し、全スタッフに周知徹底します。

利用者が可能な限り同じサービスを受けられるように、公園管理の質を一定水準に保つとともに、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点も意識して業務に取り組みます。

① 配慮が求められる方々に対する利用環境の整備

- a 公園管理事務所に車いすを2台配置し、適切な点検整備に努めるとともに、気軽にお借りいただけるよう、貸出し情報をホームページや園内掲示でお知らせしています。
- b 障がい者専用の駐車スペースについては、手稲稲積公園に4台分確保しており、支障なくご利用いただけるよう周知に努めています。
- c 会話によるコミュニケーションが困難な状況に備えて、筆談、コミュニケーションボード等による利用案内を準備します。
- d 園内の案内表示等については、誰にでも分かりやすいピクトグラムや、配色を含めたユニバーサルデザインの導入、バリアフリー情報を含むマップの提供などにより、誰もが利用しやすい園内環境の創出・維持に努めます。
- e アンケートは幅広い年齢層を対象に実施し、子どもの意見も積極的にくみ上げて公園利用に反映させていきます。
- f スタッフのネームプレートはひらがなで大きく表記し、小さな子どもでも名前が確認できるようにしています。

② 利用環境の継続的改善と適切な情報提供

- a 園路の不陸や段差などは、日常の巡視点検によりいち早く把握し、迅速に復旧・改善を行うことで、安全で平等な利用環境の確保に努めます。
- b 故障や修繕により施設等が利用できない場合は、復旧時期や代替利用の案内など必要な情報提供に努めます。
- c 公園利用届等の情報に基づいて管理作業のスケジュールを調整するとともに、利用者が過度に集中しないよう、可能な範囲で利用調整をお願いします。
- d 公式ホームページを活用し、公園利用の基本情報のほか、四季折々の景観や樹木・草花の情報、園内で実施するイベント・プログラムの情報など、利用者のニーズに應える情報をわかりやすく提供します。
- e インターネットを利用されない方に不公平感が生じないように、広報誌「札幌市からのお知らせ」、マスコミ、フリーペーパー等への情報提供、園内掲示、ニュースレターなど、多様な手段による情報発信に努めます。

③ 有料運動施設の利用者対応における平等利用の確保

- a 有料施設の利用者対応においては、「札幌市公共施設予約情報システム」及び「有料運動施設の優先使用に係る取扱要領」に基づき、公平な対応に努めます。
- b 予約システムをしっかり理解し、公平で円滑な利用者対応に努めます。
- c 予約時間には準備・片付けの時間を含むことを利用者に説明し、協力を依頼します。

④ イベントや自主事業等における平等利用の確保

- a 講習会等の参加受付は、事前に幅広く情報提供を行うなど、不公平感を与えないように対応します。
- b イベントなど、通常とは異なる公園利用の際には、一般の利用者に不都合や不利益が生じないよう、事前にイベント内容を周知するとともに、当日の対応などを適切に実施します。

⑤ 利用者の声の適切な反映やマナー啓発等の取組

- a 公園・施設の利用に関する苦情や改善等の要望を受けた時は、その内容を記録・整理し、利用環境の改善に役立てます。また、これら苦情や要望の申し立てによって差別や取扱いの差異が生じないよう、適切な対応に努めます。
- b 誰もが気持ちよく公園・施設を利用できるよう、利用者のマナー向上に取り組みます。具体的な取組内容は、本計画書「4（2）マナー啓発に関する業務と実施計画」に記載しています。

（3）地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進に向けた基本的な考え方等

人類の活動が原因となり進行している地球温暖化は、一朝一夕には解決できない大きな問題ですが、地球上のすべての人、とりわけ大きな影響を及ぼしてきた先進国の人々は、温暖化がもたらす様々な影響について意識し、その防止に向けて一人ひとりができることに取り組む責務があります。

札幌市では平成 20 年に「環境首都・札幌」宣言を世界に向けて発信し、平成 30 年には「第 2 次札幌市環境基本計画」を策定し、2050 年に向けた札幌市の環境の将来像として、『次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都・SAPPORO」』を掲げています。

また、令和 2 年 2 月には、「ゼロカーボン都市」達成に向けた宣言、令和 3 年 3 月には、「札幌市気候変動対策行動計画」を策定するとともに、「札幌市気候非常事態宣言」を発し、持続可能な脱炭素社会の構築に向け、気候変動対策への取組強化を呼びかけています。

今後は生物多様性の保全や、資源・エネルギーの有効活用などの要素に加え、市民の意識や取組をより一層高め、市民協働による「持続可能なまちづくり」を推進することが特に求められています。

緑化協会では、平成 17 年度に環境マネジメントシステム（以下、「EMS」と略します。）を構築して運用を開始し、平成 18 年 3 月に ISO14001 の認証を取得しました。

そして、平成 25 年 5 月には北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）の認証（ステップ1）を取得し、ISO14001 から切り替えて、北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）〔ステップ1〕の認証を取得し、自主性・効率性を重視した環境活動の取組をしてきました。

令和 6 年度からは今までの経験を活用し、北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）〔ステップ1〕を返上し、当協会独自のEMSを実施することとしました。

当協会は、市民の財産である公園の管理において、市民の「環境に対する厳しい目」に応え

ていくとともに、公園利用を通じて、市民に環境について考え、学び、行動する機会を提供する必要があると考えます。当公園の管理運営においても、当協会が運用する EMS に基づいて、環境への配慮に積極的に取り組みます。

(3) - 1 取組についての基本的な考え方

当公園及び周辺地域は緑豊かな環境を有することから、これら環境の保全・啓発は公園管理において重要であり、徹底した環境配慮の意識を持って管理に当たる必要があると考えます。当協会では、環境に配慮した公園管理の実施において、次に示す「公益財団法人札幌市公園緑化協会環境方針」をその基本的な考えとしています。

公益財団法人札幌市公園緑化協会 環境方針

基本理念

「緑」に象徴される植物は、長い年月をかけて大気に酸素を供給するとともに食物連鎖の基盤として、多様な生命の営みを支えてきました。私たちが生活を営む人間社会も、この「緑」を抜きには成り立ちません。

人間社会は、特に20世紀後半以降の科学技術の急速な進歩によって、非常に便利で豊かになりました。しかし、人口の増加や経済活動の拡大などによって、化石燃料などの地球資源は急速に消費され、その過程で発生する二酸化炭素や各種の有害な廃棄物などが増加しました。その結果、地球温暖化、大気汚染、海洋汚染、生物種の減少・絶滅など、地球規模の環境破壊が急激な速度で進行しています。

私たちは、現在の豊かな生活は無条件には享受できない状況に置かれています。私たち人間が生きて生活する地球の環境を守り、次の世代に引き継ぐ責務を負っていることを一人ひとりが自覚して行動する必要があります。

【公益財団法人札幌市公園緑化協会】は、公園緑地の良好な管理運営と都市緑化の普及啓発を図ることによって、市民に快適な生活環境を提供するための事業を推進します。同時に、私たちは市民とともに、「緑」の創出・保全を図ることで地球環境の改善に最大限努力します。

この取組を適切に維持するために、当協会では環境マネジメントシステムを構築し、運用します。

基本方針

「緑」を通じた快適な生活環境づくりと地球環境の保全に寄与するため、次の方針に基づき、日々の事業活動に取り組めます。

1 環境経営の推進

地球環境への影響低減・環境保全への取組みが、当協会の事業目的の達成にも資することを目指した「環境経営」を推進するため、環境マネジメントシステムを活用します。

2 環境パフォーマンスの継続的改善

環境目的・目標を定め、その達成に向けて努力するとともに、定期的な検証と見直しを行うことにより、環境パフォーマンスを向上させるための継続的な改善を図ります。

3 環境意識の啓発

当協会の事業活動に関わる人々のほか、広く市民に対して地球環境の大切さを啓発し、環境保全に対する意識の向上、社会的合意形成の強化に貢献します。

4 環境の維持・改善

日常の事業活動においては特に、省資源・省エネルギー、廃棄物の削減及びリサイクルの推進等により、環境負荷の低減と生物多様性の保全に努めます。

5 環境に関する危機管理の徹底

突発的な事故や自然災害によって生じるおそれのある環境への悪影響について、予防措置を講じるとともに、被害を最小限に留めるための取組みに努め、環境汚染に対する危機管理を徹底します。

6 法律等の順守

地球環境保全に誠実に取り組む前提として、環境関連の法律・条例等を順守し、また当協会が同意する外部との環境に関わる取決め等についても、これを守ります。

この環境方針は、職員をはじめ当協会の事業活動に関わる全ての人に周知徹底するとともに外部に公表します。

2022年4月1日

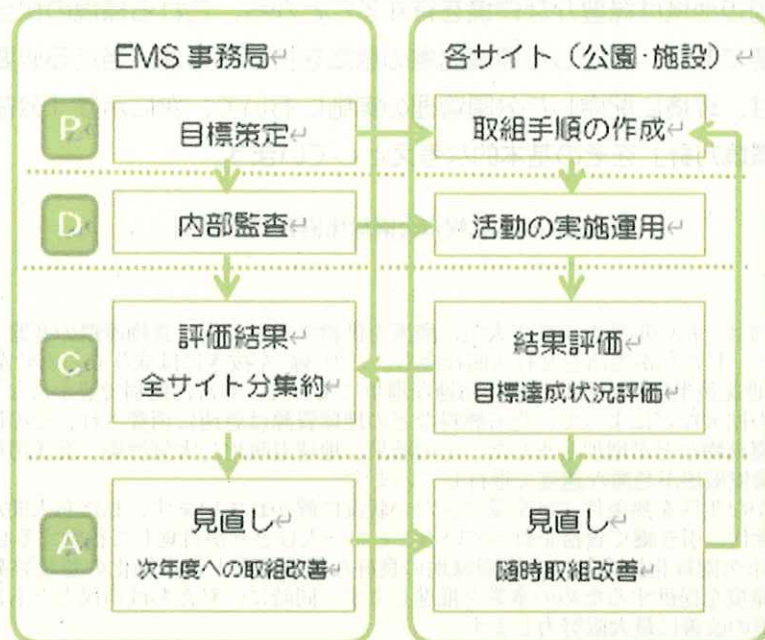
公益財団法人札幌市公園緑化協会

理事長 近藤 哲也

(3) -2 緑化協会におけるこれまでの取組・成果

緑化協会は、EMS において毎年環境目標を設定し、全スタッフの教育・訓練を実施して環境活動に取り組んでいます。

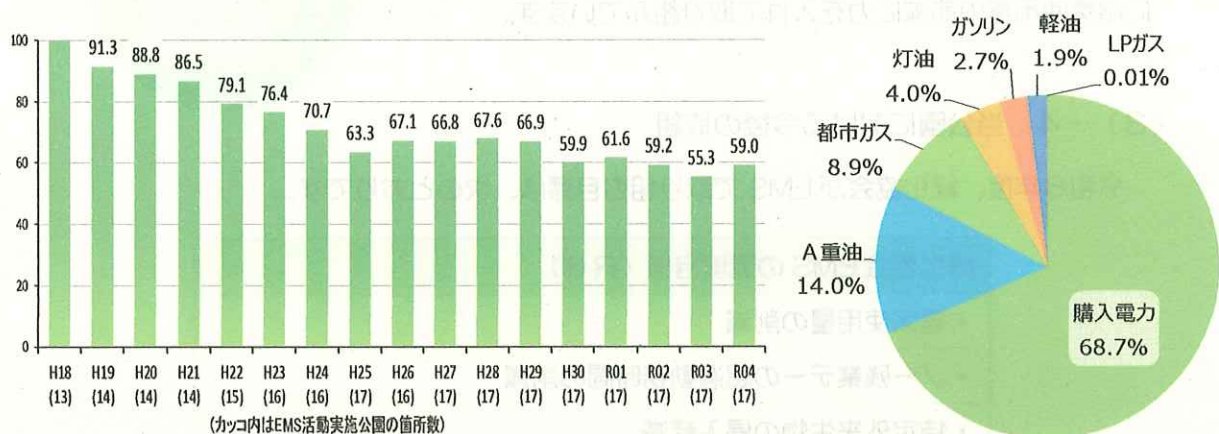
緑化協会EMSにおける環境目的・目標達成に向けた活動の流れ



これまで様々な目標を設定して活動してきましたが、近年は、公園・施設の管理運営における市民協働の推進や、生物多様性保全等の事業内容に即した視点で独自の目標を設定し、効果的な環境活動を目指しています。緑化協会のEMSにおける平成18年度から現在までの目標は次のとおりです。

実施年度	緑化協会 EMS の目標
平成 18-19	電気使用量削減、事務用品グリーン購入率向上、植物系廃棄物の再資源化 民有地緑化普及事業の利用増、一般廃棄物排出量削減、緑化講習会等の参加者増
平成 20	電気使用量削減、事務用品グリーン購入率向上 民有地緑化普及事業の利用増、一般廃棄物排出量削減、緑化講習会等の参加者増
平成 21-23	一般廃棄物排出量削減、緑化講習会等の参加者増、業務改善・新規事業等の提案 時間外勤務時間削減、食用廃油回収量増
平成 24	OA 用紙使用量削減、ボランティア活動延べ時間増加、特定外来生物の侵入軽減 食用廃油回収量増
平成 25-27	電気使用量削減、ボランティア活動延べ時間増加、特定外来生物の侵入軽減 食用廃油回収量増
平成 28-現在	電気使用量削減、残業時間削減（電気使用量削減、ワーク・ライフ・バランス推進） 特定外来生物の侵入軽減、食用廃油回収量増

EMSによる環境活動の中でも特に、エネルギー使用量の削減については、温室効果ガス発生抑制や管理費用の節減にも直結することから、最優先の課題として取り組んできました。これまで、電気・燃料などの項目別に、各公園で個別に効果的な手順を策定して取り組み、測定結果に基づき常に改善を進めてきた結果、主要公園で指定管理者制度が始まった平成18年度との比較で、令和4年度には次のとおり41.0%の削減を達成しています。



当協会の管理公園・施設におけるエネルギー使用量の推移（平成18年度を100としたEMS活動実施公園・施設の平均値）

当協会のエネルギー使用量の項目別比率（令和4年度）

エネルギー使用量のうち、比率の最も高い電力については、電気使用量の抑制を継続してEMSの目的・目標に設定しており、細かな節電の積み重ねやLED照明への転換の推進、公園・施設利用に支障とならない範囲での照明・機器類の運用の見直しなどにより、削減に努めています。

化石燃料については、基本的な節約の取組以外にも、環境への負荷が少ないBDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）混合燃料を使用し、川下公園リラックスプラザのボイラー燃料にはB10重油（BDF10%混用A重油）、百合が原公園リリートレインの燃料としてB5軽油（BDF5%混用軽油）を導入しています。

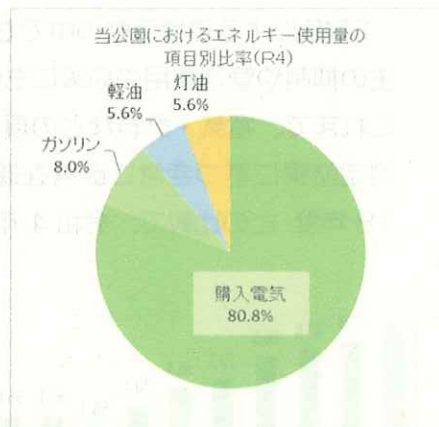
また、緑化協会が管理する主要公園・施設に使用済み食用油の回収ボックスを設置して、公園で使用している低環境負荷燃料の原料とすることで、市民がリサイクルの成果を実感し、環境保全意識を高めることにつなげています。

当協会は、環境に配慮した取組を自主的に行っている事業所として、平成20年8月に「さっぽろエコメンバー」レベル3に登録し、3年毎の更新を続け、現在に至っています。また、北海道が実施する北海道グリーン・Biz認定制度において「優良な取組」部門ランク3に登録し、同様に更新を続けています。



(3) - 3 当公園におけるこれまでの取組

当グループでは、これまで当公園の管理においても、EMS に基づき、積極的に環境活動に取り組んできました。エネルギー使用量についてみると、手稲稲積公園では電力が全体の80.8%を占めることから、特に電気使用量の節減に力を入れて取り組んでいます。



(3) - 4 当公園における今後の取組

令和6年度、緑化協会がEMS で取り組む目標は、次のとおりです。

緑化協会 EMS の環境目標 (R6)

- ・電気使用量の削減
- ・ノー残業デーの超過勤務時間の削減
- ・特定外来生物の侵入軽減
- ・食用廃油の回収量増加 (当公園のほか一部公園)

今後も、緑化協会の EMS に基づく取組を継続するほか、生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークへの加入を継続し、植物残渣のリサイクル、講習会などを通じての環境教育に取り組めます。その他、環境配慮に関連する具体的な取組として、当公園では次に示した項目について、スタッフ全員で取り組めます。また、スタッフから環境配慮のアイディア、工夫等の提案を募り、積極的に取り入れて改善に努めます。

① 物品やサービスの購入時の取組

項 目	具体的取組
グリーン購入	事務用品はグリーン購入法適合品を選択
長寿命の見込める商品の選択	長期的視点での機種選択 (耐久性、メンテナンスや部品交換の容易さ)
地域の産品や企業の積極的選択	地域振興への貢献及びマイレージ (輸送に係る環境コスト) を小さくする考え方での選択

② 物品やサービスの使用時の取組

項 目	具体的取組
電力使用量の削減	エコスタイル (服装と温度設定) の実施 屋内照明の積極的な消灯 (不要箇所、外光利用) 就業時刻前、昼休みの消灯 (管理スペース) OA 機器類の適切な節電設定 週 1 日ノー残業デーを設ける 照明器具の定期的清掃 省エネ型自販機の選択導入 積雪期等の不要な園路灯の消灯
水の使用量の削減	手洗い蛇口、トイレ等の吐出量の調整

OA 用紙使用量の削減	両面コピーの徹底、裏面利用（メモ用紙等） 電子データ化・電子決裁の推進 勤怠管理システムの導入
化石燃料使用量の削減 （暖房、作業機械）	エコスタイルの実施（ウォームビズ） BDF 配合燃料の使用（リリートレイン、作業機械の一部） 暖房器具の適正な運転、点検整備 作業機械の定期点検整備、作業時の出力調整
自動車燃料使用量の削減	環境性能に優れた車種の導入（エコドライブ表示付き車種の一部導入） アイドリングストップの励行 急発進、急加速、空ふかしをしない タイヤ空気圧の点検・調整 経済速度の遵守 不要な荷物を積載したままにしない

③ 廃棄物に関する取組

項 目	具体的取組
ごみ排出量の削減	自販機業者によるビン・缶・ペットボトル回収 利用者へのごみ持ち帰り協力の周知 ごみ発生量の少ない商品の選択 （簡易包装、繰り返し使用、詰替え等）
植物系廃棄物の再資源化、有効活用	管理等で発生した植物系廃棄物（剪定枝、間伐材）のリサイクル使用 剪定枝、つる、木の実等を工作等の素材に利用

④ 生物多様性保全に関わる取組

項 目	具体的取組
在来種の保全	在来種の生息・分布状況調査 外来種の調査・駆除
生物多様性保全に関する教育普及	地域の自然、植生、生物等についての教育普及 外来種等の問題に対する普及啓発
減農薬管理	木酢やフェロモントラップなどを活用した植物の病虫害対策
生物多様性に関わる連携	生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークに参加し活動拠点施設として登録

（３）－５ 当公園における電力の調達を予定している小売電気事業者

当公園における電力を調達している小売電気事業者２社は令和５年度の「環境配慮評価基準」を満たしていることから契約を継続し、当該の小売電気事業者２社から電力を調達します。

2 統括管理業務の実施内容

(1) 管理運営組織の確立

ア 責任者の配置、組織の整備

ア-1 手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園の管理運営体制

当グループでは、当公園の管理運営にあたり、構成団体による分業・協働体制をとり、相互の緊密な連絡と情報共有を徹底し、当公園の適切な管理運営に努めます。

業務分担は次のとおりです。

① 業務の分担と配置

構成メンバー	担当業務内容
リゾート開発	【ていねプールの管理運営業務】 プールの営業期間及びその前後の準備期間については、プール施設管理士の資格を有するプール事業所長をプールの総括管理責任者とするほか、経験豊富な社員を中心に人員を配置します。 さらに、プール衛生管理者の有資格者 1 名以上を配置することにより、「安全管理」と「衛生管理」を徹底します。
緑化協会	【ていねプール以外の当公園施設の管理運営】 公園管理事務所に適正な職員を通年配置するほか、緑化協会事務局に指揮・支援体制を整え、確実かつ柔軟な業務執行を行います。

② 連絡・情報共有の体制

毎朝、常駐スタッフ全員でミーティングを行い、作業や園内状況等の情報を共有し、これまで培ってきたノウハウを生かし業務に取り組んでいきます。また、報告等が必要な内容は、マネージャーが集約し適切に処理します。

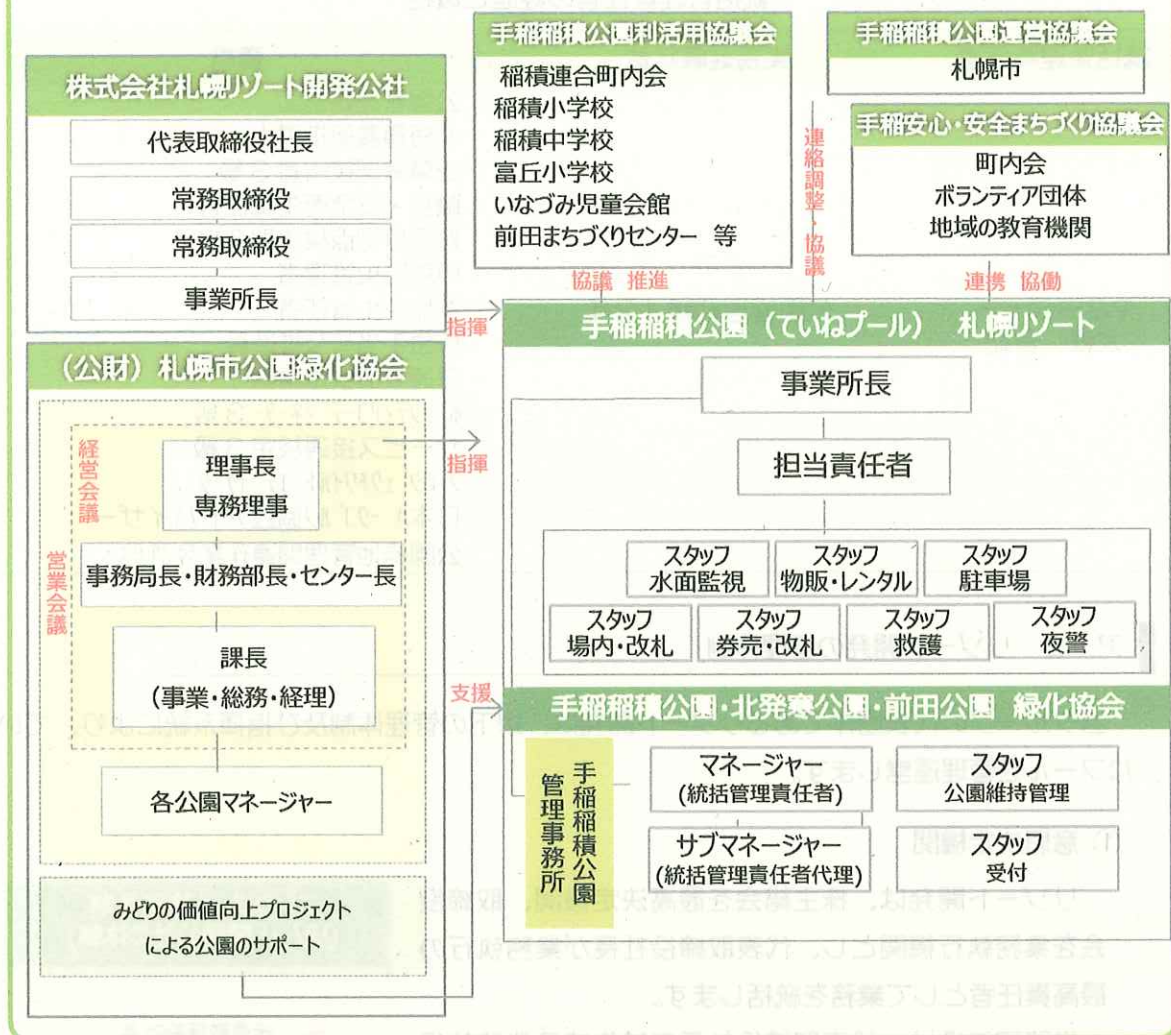
このほか、適宜グループの連絡会議を行い、連絡・情報共有の徹底を図ります。

③ 管理運営系統

常駐スタッフのほか、両構成団体の本社や他公園スタッフ等のサポートにより、公園の管理運営にあたります。

また、業務や事業等の必要に応じて、緑化協会の組織横断的な事業推進体制である「みどりの価値向上プロジェクト」が全面的にサポートします。

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園 管理運営体制



④ マネージャー（統括管理責任者）の配置

手稲稲積公園、北発寒公園及び前田公園の管理運営にあたって、公園を統括する管理事務所を手稲稲積公園に置きます。

当グループの代表団体が担当するていねプールは夏期のための営業のため、通年で職員を配置して公園を管理運営する緑化協会から、豊かな公園管理運営経験と植物栽培や施設管理の資格を有する正職員をマネージャー（統括管理責任者）として配置します。また、マネージャーの不在時に対応するサブマネージャー（統括管理責任者代理）も緑化協会スタッフを配置します。

当公園のマネージャーには、次の資質を有する人材を配置します。

- ・市民や利用者の立場に立った管理運営と企画立案ができること。
- ・リーダーシップを発揮し、よりよい組織づくりと人づくりができること。
- ・経営感覚を持って公園を管理運営できること。

マネージャーは、公園における各種事業の企画立案及び実施、札幌市との協議・調整、グループ間の連絡調整、対外的な調整など業務全体を統括し、責任を持って一元的に対応します。

また、マネージャーは公園の全スタッフを指揮し、管理運営を円滑に行います。

統括管理責任者の経歴と資格

統括管理責任者	実務経験年数	資格
マネージャー [REDACTED]	公園管理経験 12年	公園管理運営士 北海道農業指導士 芝草管理技術者 3 級 職長・安全衛生責任者 遊具日常点検講習会修了 甲種防火管理者 食品衛生責任者 応急手当普及推進員 普通救命救急講習Ⅱ ボランティア・ディレクター 3 級 サービス接遇検定 3 級 プロジェクトワイルドリーダー 日本パークゴルフ協会アドバイザー 公園緑地管理関連作業免許他

アー2 リゾート開発の管理体制

当グループの代表団体であるリゾート開発は、以下の管理体制及び指揮系統により、ていねプールを管理運営します。

① 意思決定機関

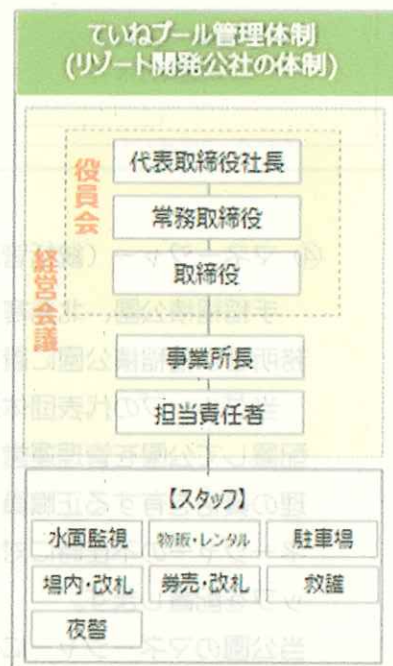
リゾート開発は、株主総会を最高決定機関、取締役会を業務執行機関とし、代表取締役社長が業務執行の最高責任者として業務を統括します。

常務取締役は、代表取締役社長を補佐する業務執行の責任者として、経営的立場から業務を統括します。

取締役は事業運営を統括的に指導監督します。事業所長及び課長は、ていねプールのマネージャー（代表団体係長）、社員、臨時職員を指揮して業務の円滑化を図ります。

② 経営会議、経営ミーティング

代表取締役社長、常務取締役、取締役、部長、課長によって構成する経営会議は、予算及び決算、業務計画、設備投資計画等の重要事項を中心に付議、協議、決定し、当社全体の円滑な運営を期することを目的とします。経営ミーティングは、経営会議と同メンバーにより、おもに報告事項、連絡事項等を中心に業務の円滑な運営を図るため、相互に確認します。



ていねプール 職務分担表 (7月～8月)	
職 名	担当業務内容
事業所長	火気取扱責任者、自衛消防隊長、個人情報取扱責任者、安全衛生推進者、事故・災害時の対応・処置、札幌市との協議・調整、プール利用者対応、利用案内・サービス、巡視・巡回、苦情・要望等対応、広報・催事の企画運営、事業計画策定、自主事業等企画・運営、報告書作成、予算執行発議、現金取扱責任者、スタッフの労務管理、委託業務の調整・管理、その他プールに係るマネジメント全般
担当責任者	施設・設備安全管理監督、ホームページ更新、災害時の対応・処置、危険物・プール利用者対応、利用案内・サービス、巡視・巡回、苦情・要望対応、広報・催事の企画運営、事業計画策定、自主事業等企画・運営、報告書作成、売上現金取扱、原材料・消耗品の在庫管理、その他プールに係るマネジメント
スタッフ (正社員・契約社員)	プール利用者対応、利用案内・サービス、苦情・要望対応、有料施設受付、広報・催事の運営補助、自主事業等企画・運営補助、報告書作成補助、ホームページの活用、売上現金取扱、その他プールのサービスに係る作業
期間雇用 (通年1名)	プールの維持管理作業、設備安全管理・維持・保全作業、プール利用者対応、利用案内、巡視・巡回、苦情・要望対応、その他プールの維持管理に係る作業

リポート開発 指揮・支援等スタッフ	
部 門 名	担当業務内容
総務部	庶務、経理、人事、給与、文書、財産管理、規定、予算・決算、財産管理、予算・決算、インターネット管理担当、繁忙時期のプール営業施設のサポート
営業部	広報・催事の企画運営、ホームページ更新、プール利用者対応、利用案内・サービス、事業計画策定、繁忙時期のプール営業施設のサポート

ア-3 緑化協会の管理体制

当グループの構成員である緑化協会は、以下の組織体制及び指揮系統により、1年を通じて当公園を管理運営します。

① 業務執行機関及び業務指揮

緑化協会は、評議員会を法人の最高意思決定機関、理事会を業務執行機関とし、代表である理事長は業務執行の最高責任者として協会全体を指揮します。専務理事は、理事長を補佐する業務執行の責任者で、経営的立場から理事長とともに業務を統括します。

事務局長は、事務及び業務を統括的に指揮監督します。公園・施設の管理運営執行責任者である課長は、公園・施設のマネージャーとスタッフあるいは事務局のスタッフを指揮して、各現場の業務を円滑に執行します。



② 経営会議及び営業会議

理事長、専務理事、事務局長、センター長（国営滝野すずらん丘陵公園）、課長等によって構成する経営会議は、緑化協会全体の事業の円滑な執行を図るため、経営的な観点から執行状況を検証し指揮監督します。

経営会議の下に、全公園・施設のマネージャー等で構成する営業会議を設置し、各現場の状況を互いに報告し意見交換を行うことで、業務の点検・改善を行い円滑な業務執行を図ります。

③ 事務局

事務局には、事務局長以下、事業課、総務課、経理課スタッフが常勤し、協会内部及び外部との連絡調整を行うほか、公益事業・収益事業の対応も含め庶務・経理を統括し、法人の中核管理機能を果たします。

上記①～③の体制・指揮系統のもと、公益法人としてしっかり法令を遵守し、各種サービスの向上、利用者の平等・公平性の確保、安全・安心及び快適性の確保、業務の簡素化・効率化などに組織的かつ効率的に取り組めます。

また、業務に関連する各種資格や知識、技術を有する事務局スタッフは、必要に応じて各現場の実施事業の支援に入り、よりクオリティの高い運営をサポートします。

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園 職務分担表（4月～11月、緑化協会）	
職 名	担当業務内容
マネージャー （統括管理責任者）	【統括管理責任者】 コンプライアンスの確保 公園利用者等への平等・公平な管理運営 公園施設の保全と安全管理 ホスピタリティ向上に向けた取組 効率的・効果的な公園管理運営 総合的マネジメントの遂行 その他公園に係るマネジメント全般
サブマネージャー （統括管理責任者代理）	緑地管理作業指揮、遊具・施設・設備安全管理監督、ホームページ更新、災害時の対応・処置、危険物・農薬・肥料管理担当、ボランティアとの協議・調整、公園利用者対応、利用案内・サービス、巡視・巡回、苦情・要望対応、広報・催事の企画運営、事業計画策定、自主事業等企画・運営、報告書作成、売上現金取扱、原材料・消耗品の在庫管理、その他公園に係るマネジメント
管理事務所受付スタッフ ①②③	公園利用者対応、利用案内・サービス、苦情・要望対応、有料施設受付、広報・催事の運営補助、自主事業等企画・運営補助、報告書作成補助、ホームページの活用、売上現金取扱、その他公園のサービスに係る作業
公園維持管理スタッフ ①②③④⑤⑥	園地の植物維持管理作業、設備等安全管理・維持・保全作業 公園利用者対応、利用案内、園内巡視、苦情・要望対応 その他公園の維持管理に係る作業

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園 指揮・支援等スタッフ職務分担表（通年）		
職 名		担当業務内容
指揮・支援等スタッフ 緑化協会	担当課長	【公園管理運営執行責任者】 公園管理運営・事業推進の総括、札幌市との連絡・事業調整 公園管理・植物管理の指揮・指導、その他総合的なマネジメント
	事業課スタッフ	公園施設間の事業調整、自主事業・契約等、札幌市との調整、都市緑化基金等
	総務課スタッフ	庶務、人事、給与、文書、規定、研修、福利厚生
	経理課スタッフ	経理、財産管理、予算・決算、情報セキュリティ
	「みどりの価値向上プロジェクト」チーム	公園管理実務経験者の横断的なプロジェクトチームによる公園の課題解決・価値や魅力の向上

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園 職務分担表（12月～3月、緑化協会）		
職 名		担当業務内容
マネージャー （統括管理責任者）		【統括管理責任者】 コンプライアンスの確保 公園利用者等への平等・公平な管理運営 公園施設の保全と安全管理 ホスピタリティ向上に向けた取組 効率的・効果的な公園管理運営 総合的なマネジメントの遂行 その他公園に係るマネジメント全般
サブマネージャー （統括管理責任者代理）		緑地管理作業指揮、遊具・施設・設備安全管理監督、ホームページ更新、災害時の対応・処置、危険物・農薬・肥料管理担当、ボランティアとの協議・調整、公園利用者対応、利用案内・サービス、巡視・巡回、苦情・要望対応、広報・催事の企画運営、事業計画策定、自主事業等企画・運営、報告書作成、売上現金取扱、原材料・消耗品の在庫管理、その他公園に係るマネジメント

ア－4 職責及び役割等の明示

公園に勤務するスタッフの責任と役割等を明らかにするため、氏名、職責、担当業務等を記載した配置図を管理事務所に掲示します。また、スタッフ一人ひとりが自覚と責任を持って業務にあたり、公園利用者がスタッフを容易に見分けられるよう、全員がネームカードを着用します。

ア-5 緑化協会の横断的事業推進体制「みどりの価値向上プロジェクト」

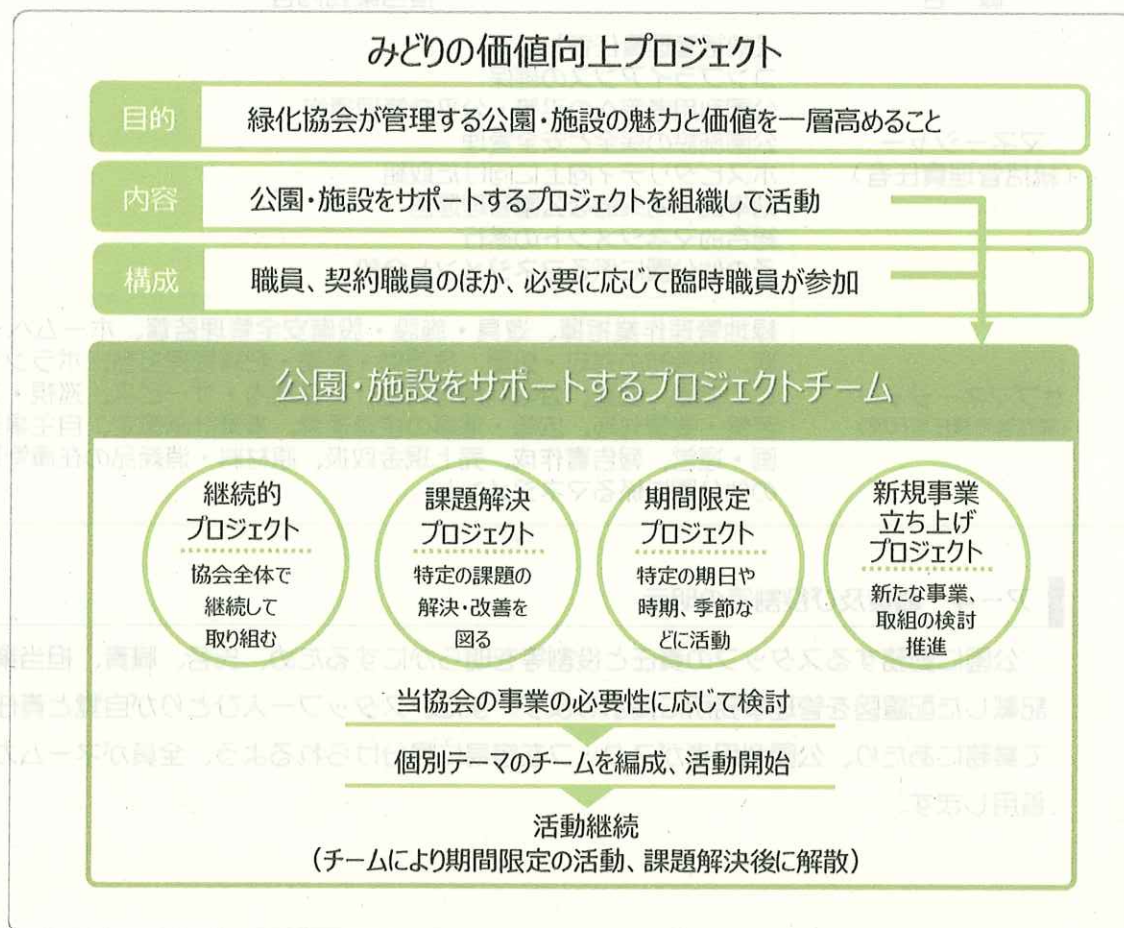
緑化協会では、勤務する公園・施設や担当範囲を超えた横断的事業推進体制である「みどりの価値向上プロジェクト」を構築しています。全公園・施設に関わる継続的な課題や期間限定の課題を、それぞれのテーマごとにメンバーを募ってチームを結成し活動に取り組んでいます。

これらのプロジェクトチームの活動により、当公園を含めた各公園・施設の管理運営を効果的にサポートしています。

プロジェクトの活動事例

・「外あそび」チーム

公園を活用した子どもの外遊びの推進とその指導者の養成を目的として、平成28年度から毎年度継続して外部の助成金を受けて、多世代向け外遊びイベント「公園であそぼ!」や指導者養成講座「公園あそびのヒント講座」を開催しています。



アー6 公園管理や植物管理に係る有資格者の技術の共有

現在、公園施設の管理運営や植物管理に係る当グループスタッフが有する資格は、次表のとおりです。これら有資格スタッフが有する知識、技術など、あらゆるノウハウを活用して、公園における管理運営のレベルアップと来園者の利用満足度を高めます。

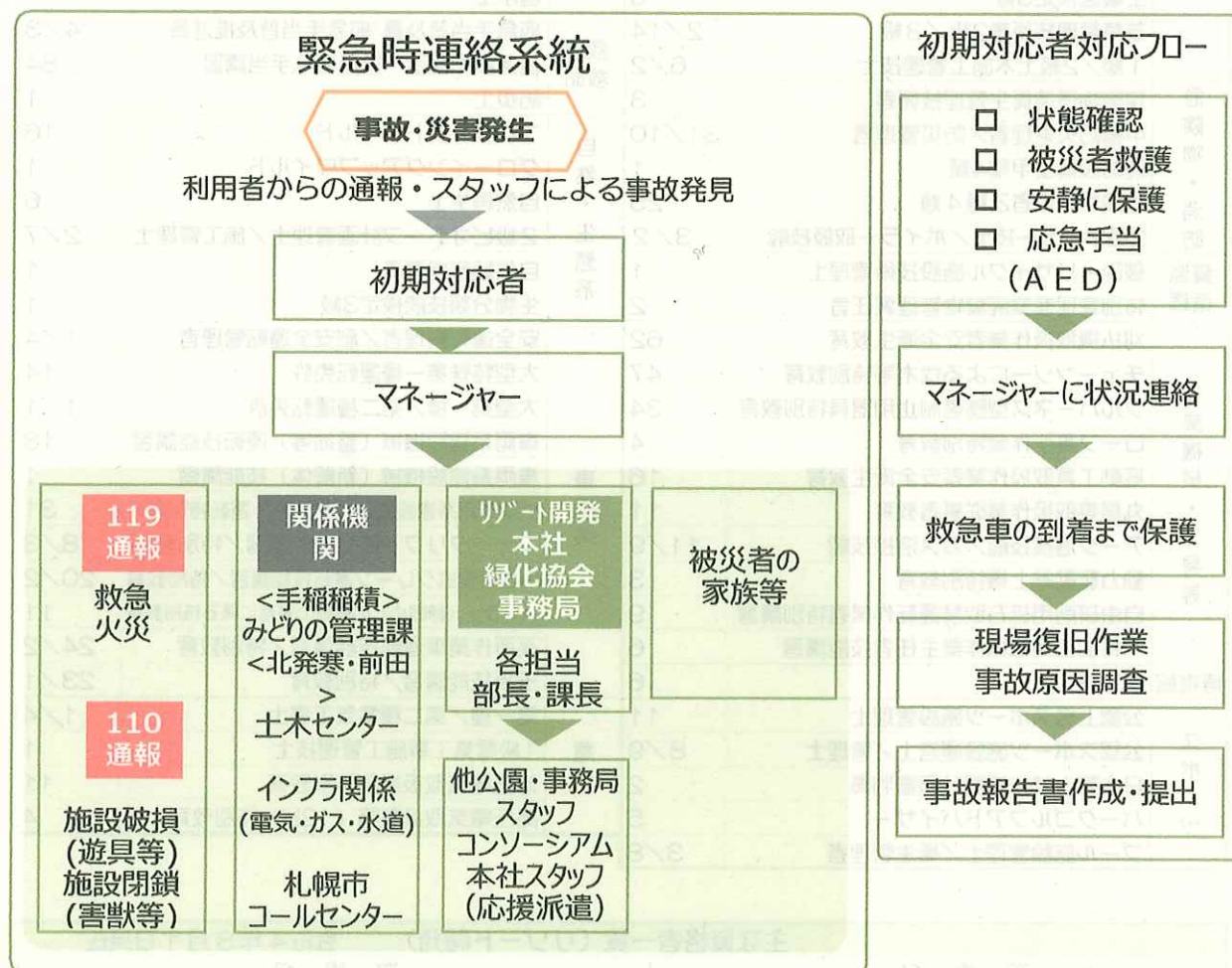
主な資格者一覧					令和5年6月1日現在				
分野	資格名	人	分野	資格名	人				
植物・園地管理	樹木医／樹木医補	2/1	安全・サービス	遊具の日常点検講習	52				
	1級／2級造園施工管理技士	21/22		北海道農業指導士	64				
	1級／2級造園技能士	5/9		毒物劇物取扱責任者（一般／農業）	2/1				
	1級／2級園芸装飾技能士	2/2		索道技術管理者	4				
	公園管理運営士	43		食品衛生責任者	17				
	スーパーグリーンアドバイザー	1		サービス接遇実務検定準1級	1				
	グリーンアドバイザー	8		サービス接遇実務検定2級/3級	21/71				
	北海道フラワーマスター	2		全身性障害者移動介助従事者養成研修課程	3				
	ハンギングバスケットマスター	2		サービス介助士／準サービス介助士	2/1				
	グリーンマスター	1	労働・衛生	第一種／第二種衛生管理者	8/2				
	花育アドバイザー	2		職長・安全衛生責任者教育／安全衛生推進者	8/17				
	メディカルハーブコーディネーター	2		ワーク・ライフ・バランス推進員	1				
	園芸療法リーダー2級	1		メンタルヘルスマネジメント検定Ⅱ種	5				
	緑の安全管理士	1		危険予知訓練トレーナー研修	1				
	家庭菜園検定2級	1		社会保険労務士	1				
	土壌医検定3級	3		潜水士	1				
	芝草管理技術者2級／3級	2/14	救急救命	応急手当普及員／応急手当普及推進員	4/3				
	1級／2級土木施工管理技士	6/2		普通救命講習・普通応急手当講習	84				
危険物・消防	建築物環境衛生管理技術者	3		防災士	1				
	甲種防火管理者／防災管理者	31/10	自然・生態系	プロジェクトワイルド	16				
	消防設備士甲種4類	1		グローイングアップワイルド	1				
	危険物取扱者乙種4類	25		自然再生士	6				
	2級ボイラー技士／ボイラー取扱技能	3/2		2級ピオトープ計画管理士／施工管理士	2/7				
資源循環	破碎・リサイクル施設技術管理士	1		自然観察指導員	1				
	特別管理産業廃棄物管理責任者	2	車両系	生物分類技能検定3級	1				
作業機械・工具等	刈払機取扱作業安全衛生教育	62		安全運転管理者／副安全運転管理者	1/4				
	チェーンソーによる伐木等特別教育	47		大型特殊第一種運転免許	14				
	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	34		大型第一種／第二種運転免許	1/1				
	ロープ高所作業特別教育	4		車両系建設機械（整地等）運転技能講習	18				
	振動工具取扱作業安全衛生教育	16		車両系建設機械（新解体）技能講習	1				
	丸鋸等取扱作業従事者教育	11		小型車両系建設機械（整地等）運転特別教育	31				
	アーク溶接技能／ガス溶接技能	11/9		フォークリフト運転技能講習／特別教育	8/3				
	動力駆動巻上機特別教育	3		小型移動式クレーン運転技能講習／特別教育	20/2				
	自由研削用砥石取替運転作業特別講習	9		ローラー（締固め）の運転の業務に係る特別教育	11				
	木材加工用機械作業主任者技能講習	6		高所作業車運転技能講習／特別教育	24/2				
博物館	学芸員	6	電気	玉掛技能講習／特別教育	23/1				
	公認上級スポーツ施設管理士	11		第一種／第二種電気工事士	1/4				
	公認スポーツ施設運営士／管理士	8/9		1級電気工事施工管理技士	1				
	日本陸上競技連盟公認審判員	2		低圧電気取扱業務特別教育	11				
	パークゴルフアドバイザー	5		高圧電気取扱業務（12H）特別教育	4				
	プール施設管理士／衛生管理者	3/8							

主な資格者一覧（リゾート開発）				令和4年8月1日現在	
資 格 名		人	資 格 名		人
プール衛生管理者		3	研削砥石の取替え又は取替え時の試運転業務		1
プール衛生管理者施設管理士		2	アーク溶接安全衛生教育		7
公認スポーツ施設管理士		1	伐木等の業務		2

公認スポーツ施設運営士	1	クレーン運転業務（5 t 未満）	10
北海道アウトドア資格	1	索道技術管理者	7
食品衛生管理者	4	ガス溶接を行う業務	6
応急手当普及員	4	玉掛技能講習	13
普通救命講習修了証 JCA アイスメイクライセンス	1	小型移動式クレーン	7
危機管理アシスタント 1 級	1	移動式クレーン	2
高圧ガス保安業務員	1	フォークリフト技能講習	1
大型 2 種	6	車輛系建設機械(整地等・不整地運搬)	8
大型特殊免許	8	高所作業車	2
第 1 種電気工事士	2	フルハーネス	10
第 2 種電気工事士	3	足場組立等の特別教育	9
低圧電気	5	国内旅行業務取扱管理者	2
甲種防火管理者	5	国内旅程管理者	1
3 級自動車ガソリンエンジン整備士	3	ビル管理技術者	1
2 級自動車ガソリンエンジン整備士	1	公認体育施設管理士	1
航空整備士	1	煙火消費保安 動物駆逐	2
乙種 4 類危険物取扱者	2	安全運転管理者	1
刈払機取扱作業者	2	調理師免許	1

ア-7 緊急時の連絡系統

公園で緊急事態が発生したときは、被災者の救護、被害の拡大防止、復旧等を図るため、次のフローのとおり、迅速かつ的確に対応します。



イ 従事者の確保、配置

(ア) 職員配置計画

当公園の管理運営にあたっては、事業の効率化を図りつつ市民サービスの維持向上を目指して、次の4つの観点からスタッフを配置します。

- ① 公園管理や植物管理に関する高度な専門的知識・技術を有するスタッフの配置
- ② コンプライアンスに対する高い意識と接遇能力を有するスタッフの配置
- ③ 季節と業務量を勘案した弾力的な配置
- ④ 質の高い業務を安定的に遂行するため、勤務成績が優秀な契約職員やパートスタッフの継続雇用・配置

(ア) -1 プール施設スタッフ配置表

プールスタッフ配置表 (7月～8月)				
職 名	実務経験年数・資格・要件	雇用形態	時給換算額	人数
事業所長	プール施設管理士	正規社員		1名
担当責任者	プール衛生管理者	正規社員		2名
管理人		期間雇用社員		1名
プールスタッフ①		正・契約社員		12名
プールスタッフ②		期間雇用社員		65名

(ア) -2 公園スタッフ配置表

当公園の管理運営にあたっては、業務内容が大きく変わる4月～11月と12月～3月とで管理体制を変更し、以下のとおりスタッフを配置します。

なお、冬期(12月～3月)についても、管理事務所にスタッフが常駐して公園の維持管理や利用者対応をします。

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園スタッフ配置表(4月～11月、緑化協会)				
職 名	実務経験年数・資格・要件	雇用形態	時給換算額	配置人数
マネージャー (統括管理責任者)	公園管理経験11年 公園管理運営士 北海道農薬指導士 芝草管理技術者3級 職長・安全衛生責任者 遊具日常点検講習会修了 甲種防火管理者 食品衛生責任者 応急手当普及推進員 普通救命救急講習Ⅱ ボランティア・ディネーター3級 サービス接遇検定3級 プロダクト・デザイナー	正規職員		1名

	日本パークゴルフ協会アドバイザー 高等学校教諭Ⅱ種（美術） 中学校教諭Ⅰ種（美術） 公園緑地管理関連作業免許他			
サブマネージャー （統括管理責任者代理）	公園管理実務経験3年 日本トレーニング指導者協会 JATI-ATI 健康実践運動指導者、小型移動式 クレーン、玉掛技能、高所作業車 運転技能、公園緑地管理関連作業 免許他	正規職員 以外		1名
受付スタッフ ①②③	サービス業経験者 サービス接遇検定ほか	正規職員 以外		3名
公園維持管理スタッフ ①②③④⑤⑥	1級造園施工管理技士、土木施工 管理技士、電気工事士、公園緑地 管理関連作業免許保有者 造園・公園施設等管理経験者	正規職員 以外		6名

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園スタッフ配置表（12月～3月、緑化協会）				
職 名	実務経験年数・資格・要件	雇用形態	時給換算額	配置人数
マネージャー （統括管理責任者）	公園管理経験11年 公園管理運営士 北海道農業指導士 芝草管理技術者3級 職長・安全衛生責任者 遊具日常点検講習会修了 甲種防火管理者 食品衛生責任者 応急手当普及推進員 普通救命救急講習Ⅱ ボランティアリーダー3級 サービス接遇検定3級 プロフェッショナルリーダー 日本パークゴルフ協会アドバイザー 高等学校教諭Ⅱ種（美術） 中学校教諭Ⅰ種（美術） 公園緑地管理関連作業免許他	正規職員		1名
サブマネージャー （統括管理責任者代理）	公園管理実務経験3年 日本トレーニング指導者協会 JATI-ATI 健康実践運動指導者、小型移動式 クレーン、玉掛技能、高所作業車 運転技能、公園緑地管理関連作業 免許他	正規職員 以外		1名
公園維持管理スタッフ ①	公園緑地管理関連作業免許保有者 造園・公園施設等管理経験者	正規職員 以外		1名

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園 指揮・支援等スタッフ配置表（通年）					
職 名	実務経験年数・資格・要件	所 属	雇用形態	時給換算額	人数
担当課長	公園管理経験30年以上 公園管理運営士、農業指導士	当協会	正規職員	—	1名

事務局スタッフ 事業課・総務課・経理課	公園管理運営経験	正規職員 正規職員以外	—	13名
みどりの価値向上 プロジェクトチーム	当協会内専門技術有資格者等 公園管理運営実務経験	正規職員 正規職員以外	—	最大約 50名

また、自主事業開催時や緊急事態発生時には、次のとおりサポートスタッフのほか、必要に応じて委託業者等を配置し、適切な体制をとります。

【イベント・プログラムの開催時等の支援体制】

- ① 当協会事務局スタッフ 13名
- ② みどりの価値向上プロジェクトスタッフ 最大約50名

【緊急事態発生時の支援体制（災害・事故等の規模により適宜配置）】

当協会事務局スタッフ、当協会他公園管理スタッフ

【保守・保安体制】

電気保安委託業者、機械警備委託業者、配管設備業者等

(イ) 職員採用計画

(イ) - 1 経験のあるスタッフの採用と配置

現在、当公園の管理運営に従事している経験豊かな正職員を引き続き配置するとともに、勤務成績が優秀な有期雇用契約職員を継続雇用することで、管理の質の安定的な向上を図ります。

① 統括管理責任者（緑化協会）：マネージャー

公園管理運営の経験と実績を有し、公園管理に有効な資格を持つスタッフを 1 名配置します。

② 統括管理責任者代理（緑化協会）：サブマネージャー

公園管理が豊富で技術力のある優秀なスタッフを 1 名配置します。

③ 受付スタッフ

明るく接客対応に優れていて OA 操作ができるスタッフを 3 名配置します。

④ 緑地・施設維持管理スタッフ

作業経験が豊富で、必要な資格を持ったスタッフを 6 名配置します。

(イ) - 2 新規スタッフの採用方法

新規スタッフを採用する場合は、優秀な人材確保のため、次の方法で募集等を行い、職務にふさわしい人物を公正に選考します。

- ・ ハローワークや地域の求人情報誌、折込チラシ、ホームページ等により広く募集します。
- ・ 新規採用にあたっては、業務や職種別に適性試験等を実施し、公正に採用を判断します。
- ・ 障がい者の雇用について、ハローワーク障がい者雇用担当窓口や、障がい者元気スキルアップ事業（札幌市委託事業）などを活用し、積極的に採用を検討します。

(ウ) 勤務形態・勤務条件

(ウ) - 1 勤務形態及び勤務条件

スタッフの勤務形態及び勤務条件は次のとおりとします。

《プール施設》

ていねプールスタッフ勤務形態・条件（営業期間中）								
役 職		勤務形態	勤務日数/ 週	勤務時間	勤務時間/週	休憩	休暇	その他
事業所長	1 名	正社員	5 日	8:30 ～ 17:30	40 時間	60 分	年次有給休暇	健康保険 厚生年金 労災保険 雇用保険
担当責任者	2 名							
水面監視・救護担当	5 名	正社員 契約社員						
施設・水質担当	1 名							
物販・レンタル担当	1 名							
駐車場担当	1 名							
場内・改札担当	2 名							
券売・会計担当	2 名							
管理人	1 名	期間雇用社員（通年）						
水面監視スタッフ	34 名	期間雇用社員（期間限定）						
物販・以外スタッフ	5 名							
駐車場スタッフ	8 名							
場内・改札スタッフ	10 名							
券売・会計スタッフ	4 名							
救護スタッフ	2 名							
夜警スタッフ	2 名							

《公園》

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園 スタッフ勤務形態・条件							
役 職	勤務形態	勤務日数/週	勤務時間	勤務時間/週	休憩	休暇 ※	その他
マネージャー (統括責任者)	常勤	5日	8:45～ 17:15	38時間45分	45分	年次有給休暇 病気休暇 特別休暇 短期介護休暇 子の看護休暇	健康保険 厚生年金 労災保険 雇用保険
サブマネージャー (統括責任者代理)	常勤						
公園維持管理スタッフA ①②③④⑤	常勤		8:45～ 17:15 ※10月以降 30分～ 45分繰上	35時間～ 38時間45分			
公園維持管理スタッフB ⑥	パート	3日		21時間～ 23時間15分			健康保険 厚生年金 労災保険
受付スタッフ①②	常勤	5日	8:45～ 17:15	35時間～ 38時間45分			健康保険 厚生年金 労災保険 雇用保険
受付スタッフ③	パート	3日	8:45～ 17:15	23時間15分			健康保険 厚生年金 労災保険

※このほか、雇用条件により育児休業・介護休業、リフレッシュ休暇
※年次有給休暇は、6ヶ月継続勤務する者に付与

(ウ) -2 スタッフローテーション

当公園スタッフの勤務ローテーションは、次の表を基本とします。

《プール施設》

ていねプール スタッフローテーション (7月～8月)								
スタッフ		日	月	火	水	木	金	土
事業所長	1名	○			○	○	○	○
担当責任者①	1名	○	○	○			○	○
担当責任者②	1名			○	○	○	○	○
プールスタッフ①	13名	5日/週ローテーションによる						
プールスタッフ②	65名	5日/週ローテーションによる						

《公園》

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園 スタッフローテーション (4月～11月、緑化協会)								
スタッフ		日	月	火	水	木	金	土
マネージャー (統括責任者)		○			○	○	○	○
サブマネージャー (統括責任者代理)		○	○	○			○	○
受付スタッフ①		○	○	○	○	○		
受付スタッフ②					○	○	○	○

受付スタッフ③	○	○					○
公園維持管理スタッフA①～④		○	○	○	○	○	
公園維持管理スタッフB⑤		○	○		○	○	
公園維持管理スタッフB⑥		○	○	○			

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園 スタッフローテーション（12月～3月、緑化協会）							
スタッフ	日	月	火	水	木	金	土
マネージャー（統括責任者）	○	○			○	○	○
サブマネージャー（統括責任者代理）	○	○	○	○			○
公園維持管理スタッフ A①		○	○	○	○	○	

（ウ）－3 非正規職員から正規職員への転換の取組

緑化協会では、優秀な人材を確保するために、有期雇用契約者の中から正職員への登用に積極的に取り組んでいます。

【最近の正規職員化の実績】

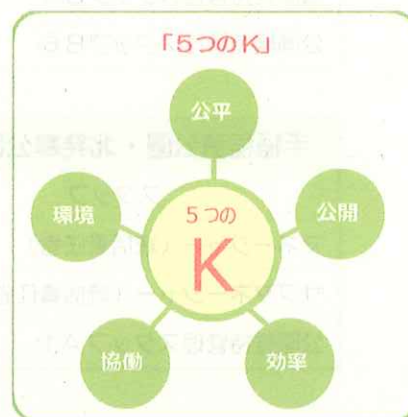
- ・令和5年度 4名
- ・令和4年度 2名
- ・令和3年度 1名
- ・令和2年度 1名
- ・令和元年度 4名
- ・平成30年度 1名

ウ 人材育成・研修計画

ウー1 人材育成・研修計画の基本方針

(リゾート開発)

リゾート開発では、人材育成や能力開発を狙いとした自己申告制度及び人事考課制度を導入しており、これに基づき計画的に人材を育成するとともに、プール施設管理士、プール衛生管理者、応急手当普及員等の資格及び技術・技能向上のため、外部講習や研修会への参加を積極的に行います。



(緑化協会)

緑化協会は、設立目的に沿った運営や事業実施が、スタッフ一人ひとりの成長と密接に関連すると捉えています。

この観点から緑化協会では、スタッフの知識と技術力、ホスピタリティ向上のため、運営方針である公益性「5つのK」を基本として、次のような講習・訓練・研修を組織的、計画的に行い、スタッフ一人ひとりの総合的力量を高めることで、組織力の強化と利用者満足度の向上につなげていきます。

ウー2 人材育成・研修計画の具体的内容（緑化協会）

① 利用者満足度の向上

利用者満足度の向上を図るため、スタッフ全員が常に“おもてなしの心”を持ち、ホスピタリティの向上に努めます。

また、公園の平等・公平な利用を確保し、利用者満足度を高められるよう、柔軟で温かみのある対応ができるスタッフの育成に努めます。

【具体的内容】

- a スタッフ採用時に必ず初任者研修を実施し、公園の管理に携わる者として必要な心がまえと基本的知識等を身につけます。
- b 全スタッフを対象として、具体的な接客・接遇、利用者からの苦情等に対応するためのスキルアップ研修を実施します。また、ホスピタリティの向上につなげるために、サービス接遇検定の受験など、資格を活用した接遇のレベルアップを目指します。
- c バリアフリー講習の受講などをとおして、社会的弱者に配慮した施設の点検や改修に取り組み、現場で見かけたときには「声かけ・手助け」などを積極的に行うことができるスタッフの育成に努めます。

研修内容	対象者	頻度・時期
接遇・サービス研修	全スタッフ	1回/年
初任者研修、サービス接遇検定	マネージャー・受付スタッフ	随時
バリアフリー講習	新規スタッフ	随時

② 安全・安心の確保と的確な情報発信

下記のとおりスタッフの教育・訓練・研修を行い、当公園の利用者及びスタッフの安全・安心を確保します。

【具体的内容】

- a 緑化協会全体での安全大会及び現場ごとの安全衛生研修を毎年4月に実施します。
- b 常勤スタッフ全員が普通救命講習を受講し、AED（自動体外式除細動器）の取扱方法を習得するとともに、処置対応訓練を毎年実施し、よりの確で迅速な対応が可能な体制を目指します。
- c 火災時、災害時の対策として、当公園スタッフによる防災訓練を毎年実施します。
- d 作業の安全性を高めるため、作業スタッフ全員がハザードマップ、ヒヤリ・ハット事例を活用した安全教育、により、安全な業務遂行についての知識・理解を深めます。また、現場で使用する作業機械の運転操作、安全作業の研修を受講します。
- e マネージャー・サブマネージャーが遊具の日常点検講習を受講・習得することで、未然に遊具事故を防止するとともに、施設の長寿命化を目指します。
- f 個人情報を取り扱うスタッフを対象に、個人情報保護研修を実施します。
- g 公園管理に関わる技能・知識の資格取得とスキルアップに努めます。
- h 誰もがホームページから正しい情報を容易に得られるよう、担当者はウェブアクセシビリティ講習を受講し、ホームページのアクセシビリティの向上に努めます。

研修内容	対象者	頻度・時期
安全大会	協会スタッフ	4月開催
安全衛生研修	各現場スタッフ	4月開催
普通救命講習	未取得スタッフ、更新者	随時
防災訓練（消防、災害）	全スタッフ	1回/年
安全教育	公園維持管理スタッフ	1回/年
機械等運転操作・安全作業研修		1回/年
造園技能スキルアップ研修		1回/年
遊具の日常点検講習	マネージャー・サブマネージャー	随時
個人情報保護講習	個人情報取扱スタッフ	1回/年
ウェブアクセシビリティ講習	ホームページ発信対応者	1回/年

③ 効率的・効果的な公園経営

緑化協会では、長期的な視点と経営的な視点で、札幌市の財産である当公園の価値向上を図ることを目指して、スタッフのキャリアアップにつながる資格取得・研修受講や自己学習を促して資質の向上を図るとともに、ひいては効率的・効果的な公園経営につなげます。

【具体的内容】

- a マネージャーは、公園管理運営関連資格の取得・更新を計画的に進め、継続的に能力開発を支援します。
- b 緑化協会の正規職員は、採用時のほか、中堅職員、マネージャー、管理職など経験と職位に応じた内容の研修を実施し、各自のキャリア形成とその向上を図り、組織全体の能力向上に繋がります。

研修等内容	対象者	頻度・時期
公園管理運営士	マネージャー	取得支援・更新
造園施工管理技士		取得支援
農薬指導士	マネージャー・サブマネージャー	取得支援・更新
キャリアアップ研修	正規職員	随時

④ 連携・協働による地域の活性化

当グループでは、市民協働による当公園の管理運営を積極的に進めていきます。

そのために、ボランティア担当スタッフを育成し、地域住民とのコミュニケーションを図るなどして、当公園での市民による活動を積極的に支援します。

【具体的内容】

- a 講習会や勉強会等の受講によりボランティア対応スタッフのコーディネート能力を向上させ、当公園における活発なボランティア活動をサポートし、地域のボランティアや活動団体等との連携・協働を推進します。
- b 周辺の町内会や各種団体との良好なコミュニケーションを確保することで、地域と連携した緑化活動やイベント等を開催し地域振興につなげます。

研修内容	対象者	頻度・時期
ボランティア支援講習	ボランティア対応スタッフ	随時
市民参加・協働に係る講習会等への参加	ボランティア対応スタッフ	随時

⑤ 良好な環境の創造・継承

緑化協会は、地域の構成員として社会的責任を果たし、公園管理において生じる地球環境への負荷を低減させ、良好な環境を次代へ引き継ぐため、EMSを策定、運用していま

す。当公園の管理に当たっては、EMSに基づいて積極的に環境活動に取り組むほか、広く市民に対して、環境を考える機会や情報の提供に努めます。

【具体的内容】

- a 緑化協会の各公園・施設における環境への取組が適切であることを確認するため、EMSにおいて年3回の目標達成状況評価、年2回の内部評価、HES 外部審査員による年1回の定期審査を実施し、PDCA サイクルによって適正な取組の確保に努めています。これらの評価・審査は、環境に配慮した業務実施に向けたスタッフ教育にもつながるため、今後も継続して行っています。
- b 都市緑化や生物多様性保全等の分野における市民参加・協働の事例を学ぶため、外部の講習会や活動への積極的な参加を促し、公園・施設管理における市民協働の推進につなげます。

研修内容	対象者	頻度・時期
環境マネジメント研修	全スタッフ	1回/年

エ 労働関係法令の遵守、雇用環境の維持向上

法令等のほか、通年で当公園の管理に従事する緑化協会の規程に沿って、次のとおり雇用環境の維持向上に努めます。

エー１ 雇用環境維持・向上に向けた基本的な考え方

当グループは、スタッフの能力を最大限発揮するためには、安心して働くことのできる健全な職場環境を保持・整備することが重要であると考えます。スタッフの雇用をしっかりと守ることで、市民サービスの取組や社会貢献へのモチベーションを高めていくことができるように配慮します。

エー２ 労働関係法令の遵守と関係規程の整備、届出等

スタッフが安心して働くことのできる雇用環境を確保し、事業者としての社会的責任を果たすため、下表の法令及び当協会が自ら整備した雇用に係る規程を遵守し、必要な費用を負担し各種届出等の手続きを行います。

法令等	実施内容
労働基準法	■常に関係法令を遵守し、改めた就業規則は速やかに労働基準監督署へ届け出ます。また、内容をスタッフへ周知徹底します。 ■時間外労働・休日労働に関する規程は労働者代表と協定を締結し、労働基準監督署へ届け出ます。 ■給与の支払時期・支払方法等、賃金に関する事項を遵守します。 ■年次有給休暇は法定日数を付与するとともに、取得しやすい環境を整備します。 ■その他労働基準法に基づく労働条件を確保します。
最低賃金法	■すべてのスタッフについて、最低賃金制度に基づく最低賃金以上の取扱いを徹底します。
労働安全衛生法・労働者災害補償保険法	■法令に基づく定期健康診断を実施します。 ■安全衛生委員会を設置し、労災事故防止の取組や職場診断等を実施します。 ■総括安全衛生管理者、衛生管理者及び安全衛生推進者を選任します。 ■産業医等医療専門者から指導・助言を得て、スタッフの健康管理を行います。 ■万一、労災事故が発生した場合は、事故原因を速やかに検証・記録し、再発防止策を講じます。また、労働者災害補償保険法に基づく補償を遵守し、被災スタッフの円滑な職場復帰を促進します。 ■中央労働災害防止協会に加入し、必要な情報の入手と基本的安全行動の徹底を図ります。 ■その他法令に基づく措置を実施します。
健康保険法・厚生年金保険法	■被保険者に関する事項を遵守し、年金事務所等へ届け出ます。 ■健康保険料及び厚生年金保険料を遅滞なく納付します。 ■その他健康保険法・厚生年金保険法に基づく事項を遵守し、関係書類を届け出ます。
雇用保険法	■被保険者に関する事項を遵守し、公共職業安定所へ届け出ます。 ■その他雇用保険法に基づく事項を遵守します。
労働保険の保険料の徴収等に関する法律	■労働保険料算定基礎賃金等を北海道労働局へ報告し、労働保険料を遅滞なく納付します。
労働契約法	■雇用契約書により労働条件を明示し、労使双方で契約を締結します。 ■無期労働契約への転換、雇止め法理の法定化、不合理な労働条件の廃止に関する定めを遵守し、有期労働契約で雇用するスタッフが安心して働ける職場環境を確保します。
障害者雇用促進法・障害者差別解消法	■障がい者の雇用機会確保に努め、職業生活の安定を支援します。 ■障害者差別解消法を遵守し、採用その他雇用条件に関して差別的取扱いの排除を徹底します。

高年齢者等の雇用の安定等に関する法律	■職員の定年退職後の継続雇用制度を整備し、高年齢者の高い就労意欲と蓄積された知識・技術を事業運営に活用します。
育児・介護休業法 次世代育成支援対策推進法	■育児・介護休業法に基づく休業制度をスタッフに周知し、希望者の勤務形態に配慮するなど働きながら安心して休むことができる職場づくりを推進します。 ■育児休業希望者に対し、産前6週間・産後8週間の休暇を付与します。 ■「子の看護休暇」及び「短期の介護休暇」は、時間単位で付与し、休暇を取得しやすい環境を整備します。 ■次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定しスタッフに周知するほか、ホームページで公表します。 ■職業家庭両立推進者を選任し、スタッフの職業生活と家庭生活の調和を図るよう支援します。
労働者の心の健康の保持増進のための指針	■安全衛生委員会で「心の健康づくり計画」の審議・改善を行い、メンタルヘルスケアの一層の充実を図ります。 ■ストレスチェックの実施と専門家による職場分析を活用し、職場環境等を向上させます。 ■ストレス要因の防止・軽減を重視し、メンタルヘルスケア推進に関する教育研修の実施や情報収集に努めます。 ■メンタルヘルスケアの推進にあたっては、スタッフのプライバシーに配慮します。
職場のハラスメント防止のための取組	■ハラスメント行為を防止することを事業主自らが決意表明し、行為を発生させない組織風土と快適な職場づくりに取り組みます。
パートタイム労働法	■短時間雇用管理者を選任し、短時間雇用者が十分に能力を発揮できるよう雇用環境の充実・改善を図ります。 ■雇用時における事業主からの説明義務を果たし、スタッフからの相談に応じる体制を整備します。
男女雇用機会均等法 女性活躍推進法	■機会均等推進責任者を選任し、職場における性差別の防止等必要な措置を講じます。 ■女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定しスタッフに周知するほか、ホームページで公表します。 ■当協会は、えるぼし認定の段階3を取得しています。
公正な採用選考	■厚生労働省の基準に基づく公正採用選考人権啓発推進員を選任するなど、公正な採用を行い就業の促進を図ります。
裁判員の参加する刑事裁判に関する法律	■裁判員の仕事に従事するために必要な休暇を申し出たスタッフに対し、不利益な取扱いを避けるため、就業規則で休暇付与の権利を明確にします。また、この休暇取得者に関する情報は、必要最低限の者のみが把握する体制を整備します。
雇用に関して整備している規程	・就業規則 ・派遣職員取扱要綱 ・再雇用職員取扱要綱 ・給与規則 ・旅費規則 ・職員退職金規則 ・旧姓使用取扱要綱 ・業務に必要な公的資格取得支援取扱要綱 ・職員採用方法取扱要綱 ・職員育児休業等取扱要綱 ・職員介護休業取扱要綱 ・契約職員取扱要綱 ・特定職員取扱要綱 ・パートナー職員取扱要綱 ・臨時職員取扱要綱 ・職員被服貸与要綱 ・職員健康診断受診要綱 ・ハラスメント防止指針